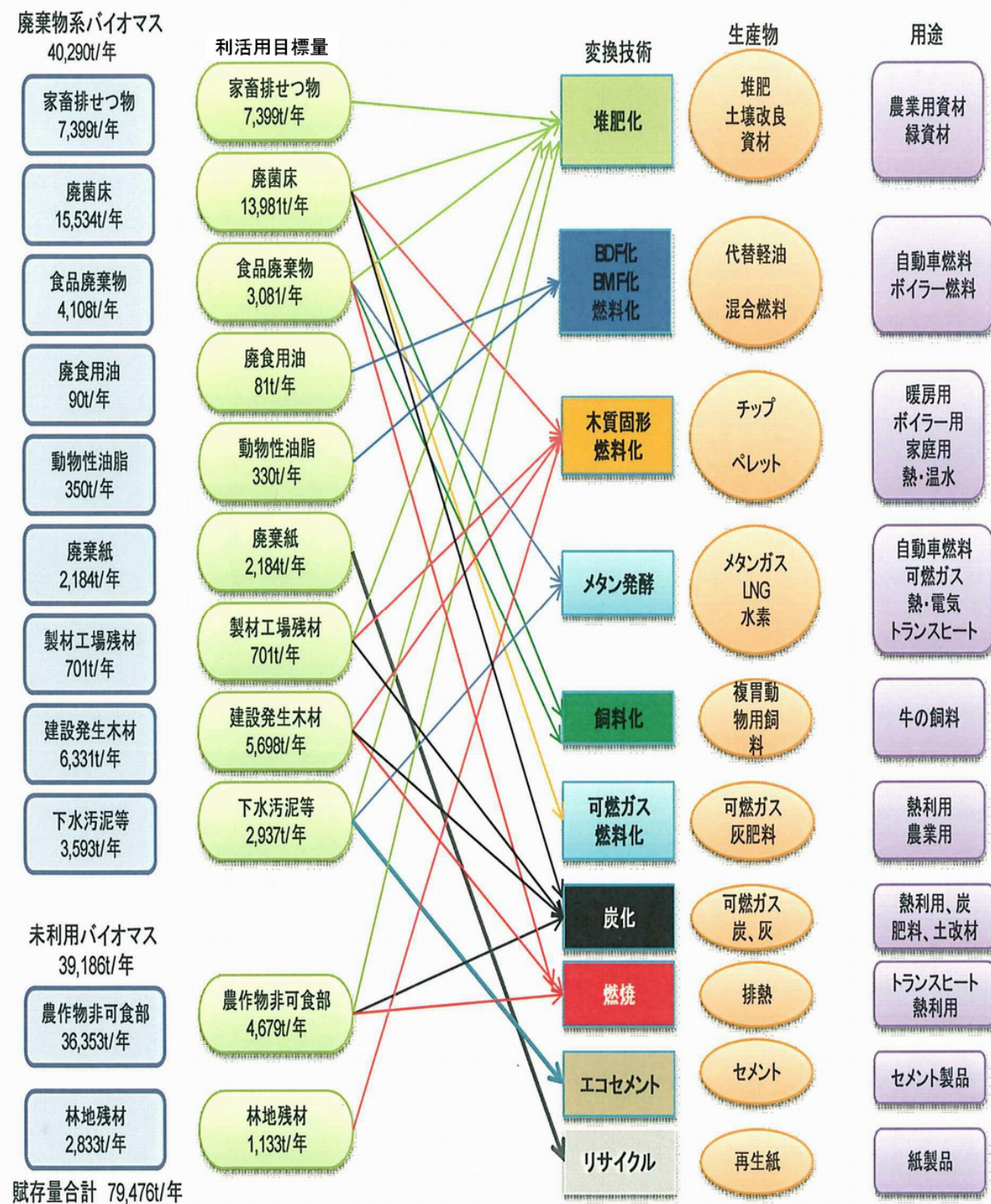


# 十日町市におけるバイオマス利活用の目標

十日町市では基礎調査により、きのこ廃菌床、家畜排せつ物等の賦存量を把握しました。



# 十日町市バイオマスタウン構想概要版



十日町市は、地域の重要な資源であるバイオマスを利活用し、環境を重視した循環型社会を推進するため、バイオマスタウン構想を策定しましたので、その概要をお知らせします。

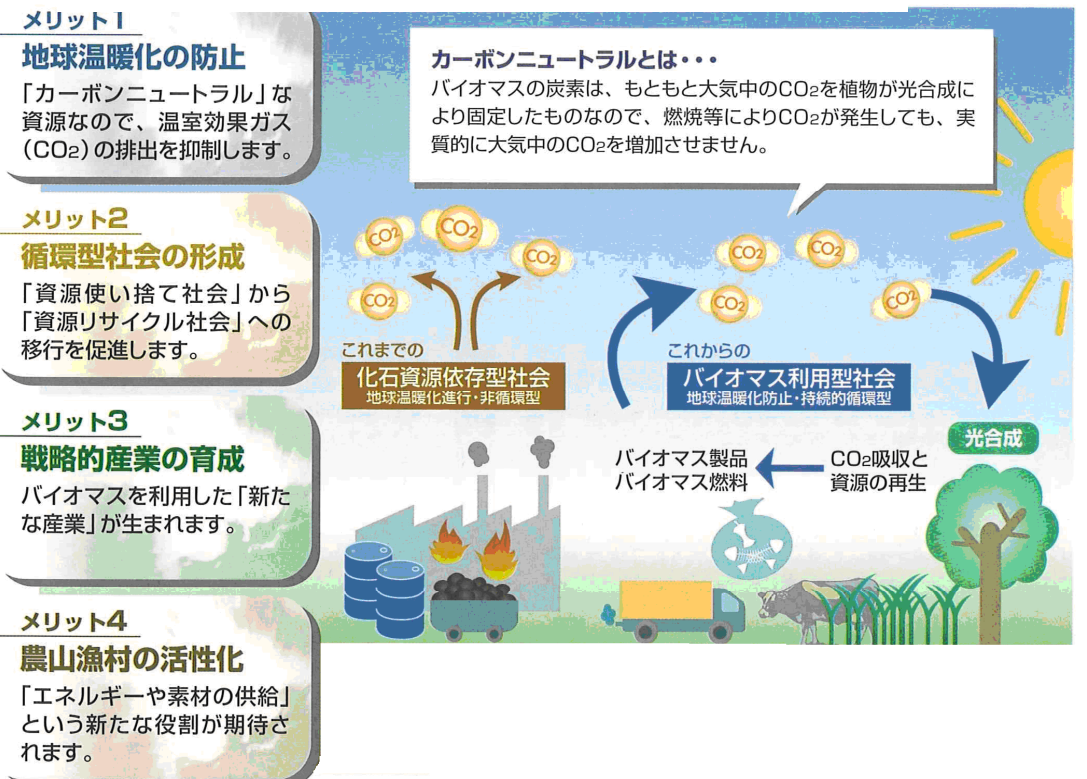
地球の未来のためにも、バイオマスタウン十日町を目指しましょう。

## バイオマスとは・・・

「バイオマス」は動植物から生まれた再生可能な有機性資源です。代表的なものに、家畜排せつ物や生ごみ、木くず、もみからなどがあります。



## 地球環境を守る鍵は「バイオマスの有効活用」



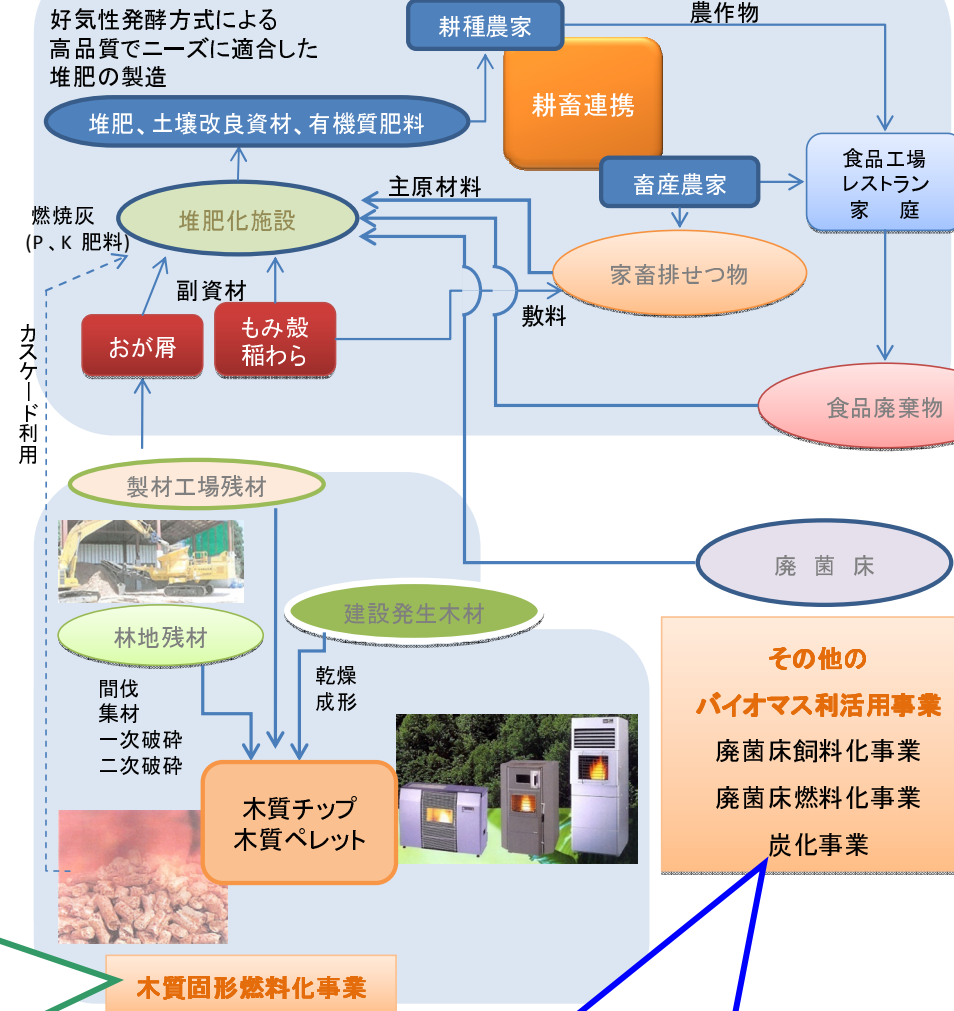
## 十日町市役所市民生活課環境政策室

〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地  
TEL. 025-757-3111(代)、025-757-3740(直通) FAX. 025-752-4635  
URL: //www.city.tokamachi.niigata.jp

### 堆肥化事業

化学肥料の使いすぎで土の質が悪くなったり、地下水の汚染などの問題が発生してきました。近年は、昔のような物質循環を大切にする自然環境にやさしい有機農法が注目を集めるようになってきました。本事業では、廃菌床、家畜排せつ物、食品廃棄物を主原料とし、おが屑、もみ殻、稲わら等を副資材として堆肥を作ります。

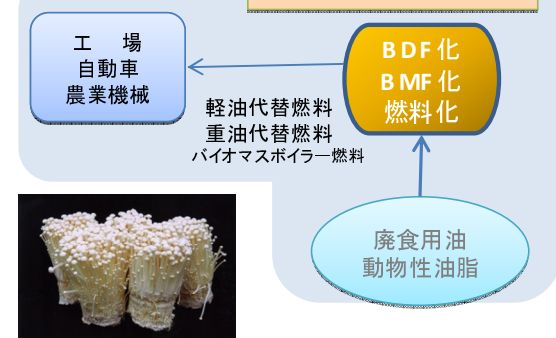
### 堆肥化事業



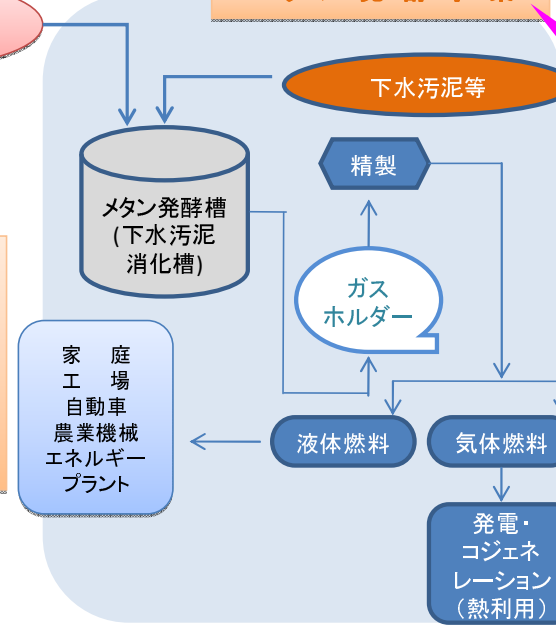
### 廃食用油・動物性油脂燃料化事業

使用済みの天ぷら油を原料に、バイオディーゼル燃料と呼ばれる燃料を作ることBDF化といいます。現在すでに実用化しており、使用量の増量に対応した精製装置の増設やガソリンスタンドへのBDF燃料計量設備等の設置により、公用車、民間車両、農業機械等への利用拡大を図ります。また、食品加工業者から排出される動物性油脂（ラード、フロス等）を再生燃料として活用し、バイオマスボイラーで燃焼させて、工場内や温泉施設の給湯等への利用を図ります。

### 廃食用油・動物性油脂燃料化事業



### メタン発酵事業



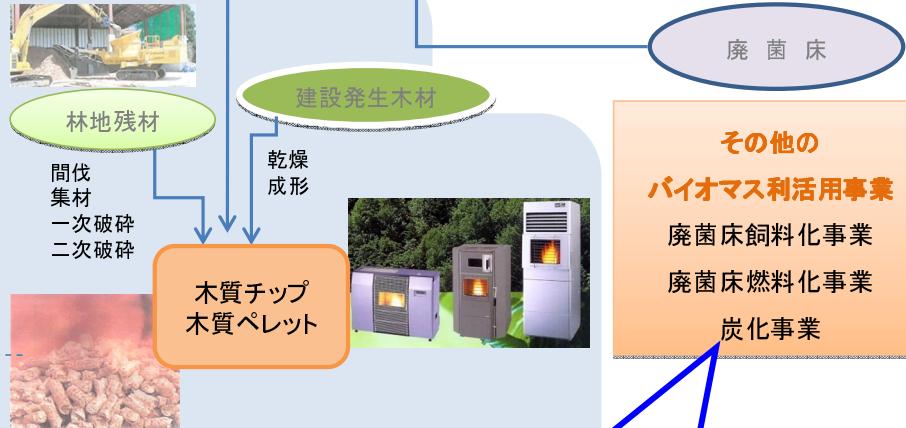
### メタン発酵事業

メタンガスは有機物がメタン菌で分解されるときに発生します。昔から沼地などでも自然発生していました。本事業では、下水水処理場において、下水汚泥と汲み取りし尿、農集排汚泥、浄化槽汚泥、食品廃棄物、バイオディーゼル燃料精製残渣等を混合し、メタン発酵させて、ガス混焼ボイラで燃焼して、熱や電気に変換して、利用することについての検討を進めます。

### 木質固形燃料化事業

乾燥した木材を細粉し、圧力をかけて、ペレットと呼ばれる円筒形に圧縮成型した木質燃料をストーブやボイラーの燃料として利用します。地域には豊富な林産資源が存在しているものの、間伐材等の多くは、収集運搬経費等の経済的な理由から林地残材として山に放置され、利活用が進んでいません。本事業は、林産資源の活用のみではなく、森林保全管理を進めることを目的としています。

### 木質固形燃料化事業



### その他のバイオマス利活用事業

- 廃菌床飼料化事業**  
 きこの廃菌床を発酵処理し家畜飼料を製造する事業の実用化を検討します。
- 廃菌床燃料化事業**  
 廃菌床からガス燃料やペレット燃料を製造し、熱利用ばかりでなく発電を行うことを検討します。
- 炭化事業**  
 籾殻や廃菌床等を炭化し、土壌改良資材として活用するほか、炭化時に発生する可燃ガス、余熱に関してはエネルギー利用の検討を進めます。

### バイオマスタウン構想の実現で期待される効果

